

半田市職員の★ 生成AI研修

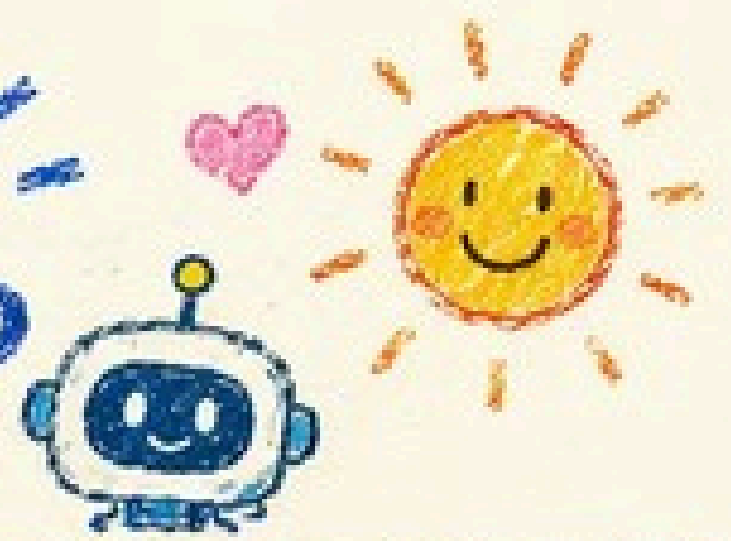
はじめてでもわかる



studio veco



なぜ今、AIが。



はじめの一歩から、いっしょに。

1 明日から使える



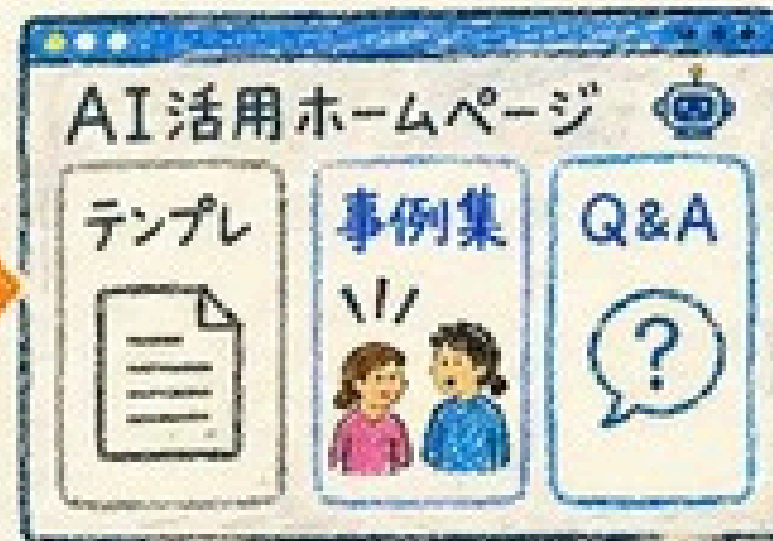
特別じゃない、ふだんの仕事に使える!

2 むずかしい技術は不要

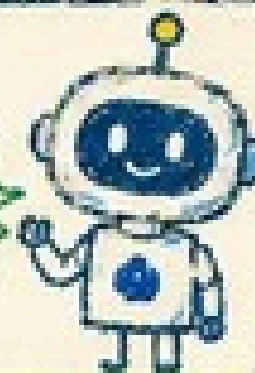


AIマスターが目的じゃない
難しい知識より まず使う

3 覚えなくていい



テンプレ・事例は
後で見返せる



4 今日は手で触る



今は手で触って
感じる事が大事!

半田市職員
みなさんへ



みんなで学んで、もっといい市役所へ!

自己紹介

自己紹介 Studio Veco 代表

MASAYASU ITO

伊藤 雅康

一般社団法人教育AI活用協会(AIUEO) 副代表
名古屋国際高校 DXハイスクールカリキュラム作成 他

- ブランドデザイナー/開発
- イベント企画
- 学校・企業への生成AI講師・研修
- アーティスト/クリエイター
- 地歌舞伎役者 (子役)

Next Slide





子どもが輝く未来づくりデザインコンクール“0”

PROLOGUE

Sri Lanka-Japan International Exchange Project: Children's drawings "interact" and come to life with AI "ONE LIGHT, MANY HEARTS"

コクヨ 株式会社 / Studio Veco / 株式会社 HIC
砧中学校公認地域サークル【Kinuta-Seed】
一般財団法人 国連支援財団
一般社団法人 国連支援SDGs促進協会
スリランカ教育省ワヤンバ州教育局

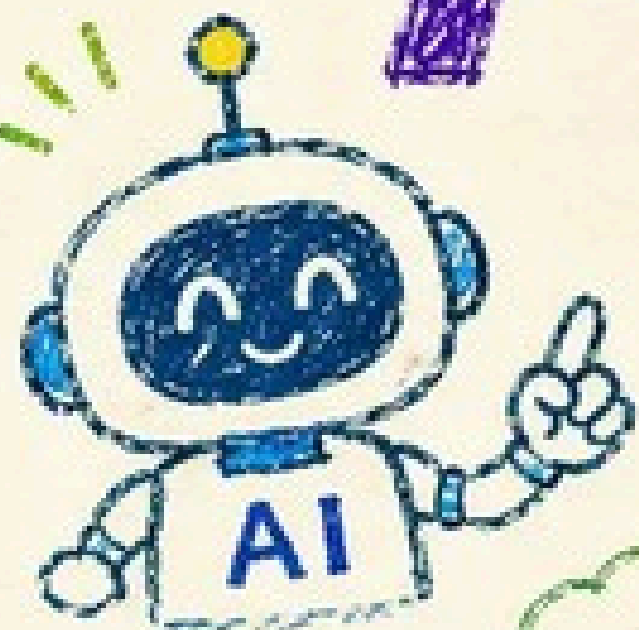


主な実績

- 2016.8 リオオリンピック 女子レスリング撮影
- 2023.3 中部地方で初めて生成AIコンサルタントを開始
- 2023.6 生成AIイベントを中部地方で最初に始める
- 2023.6 xで炎上 集団クレーム
- 2024.5 生成AI EXPOin名古屋 主宰 名城大学とイオンモールのコラボレーション2会場開催
- 2024.12 国立新美術館にて登壇
- 2025.2 イオンモールにてスポーツ科学×生成AIによるエンタメ実証実験
- 2025.5 EXPO2025 大阪・関西万博「AI HEROES COLLECTION」企画・運営・演出総監督
- 2025.6 教育AIサミットINTEROP 開催
- 2025.8 神戸市主催：神戸AIサマーフェスティバル2025 プロデュース
- 2025.8 教育AIサミット 衆議院第一議員会館で開催
- 2025.8 神戸市主催：神戸市デジタル人材育成エコシステム形成事業 運営
- 2025.10 EXPO2025 大阪・関西万博「AI活用全国大会 U-18 AIチャンピオンシップ」開催
- 2026.1 TechGALA 登壇・アート作品出展
- 2026.1 伝統工芸品×町おこし 人間国宝の邸宅活用による宿泊・旅行プラン構築 Yahooニュース掲載
- 2026.2 教育AIサミット実例大全 in KOKUYO THE CAMPUSで開催
- 2026.2 スリランカ・日本国際交流事業 子どもが輝く未来づくりデザインコンクール“0” アート作品審査員・動画制作

クイズ

AIの使い方クイズ



○、×、△で答える

どっちかな？

よく考えて
答えよう！



半田市 職員のための 生成AI研修



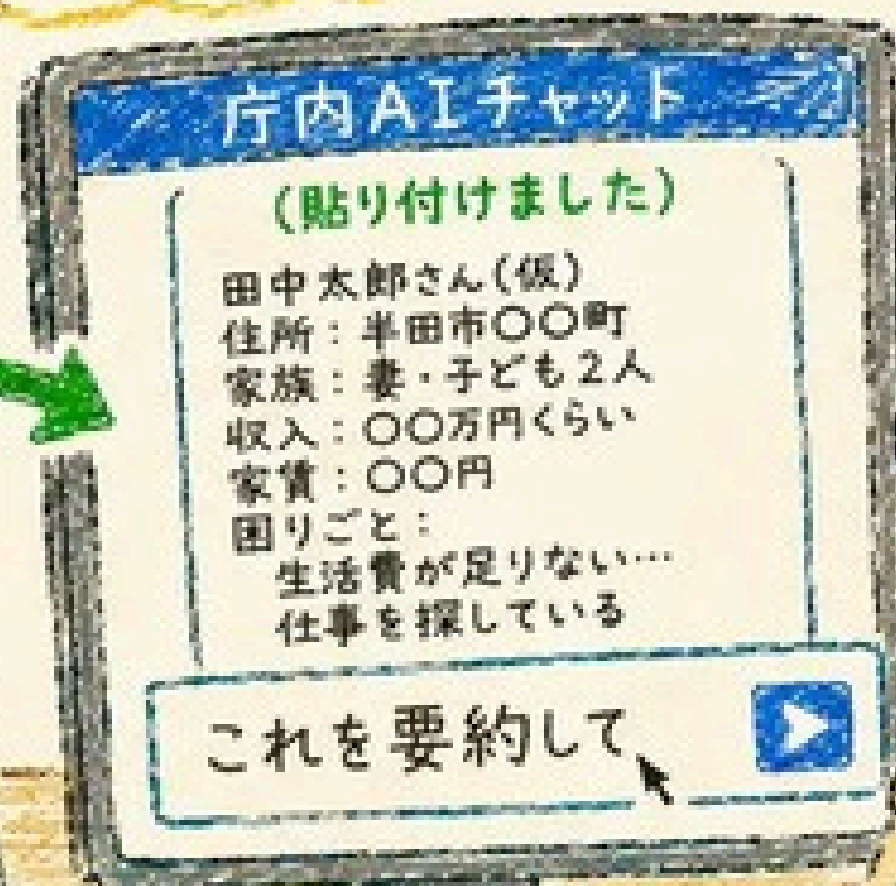
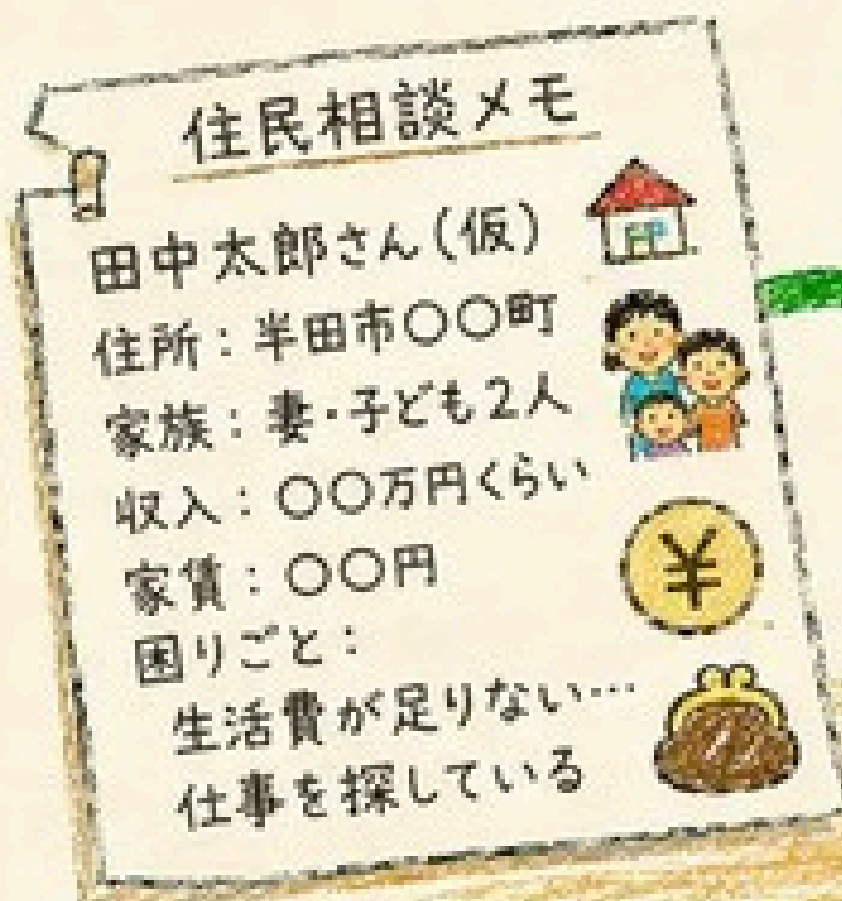
問題1

半田市職員のための
生成AI研修

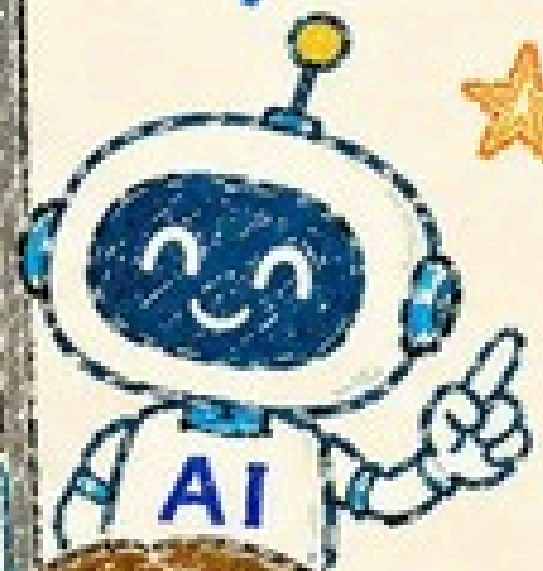
この使い方、アリ？

今回のシナリオ

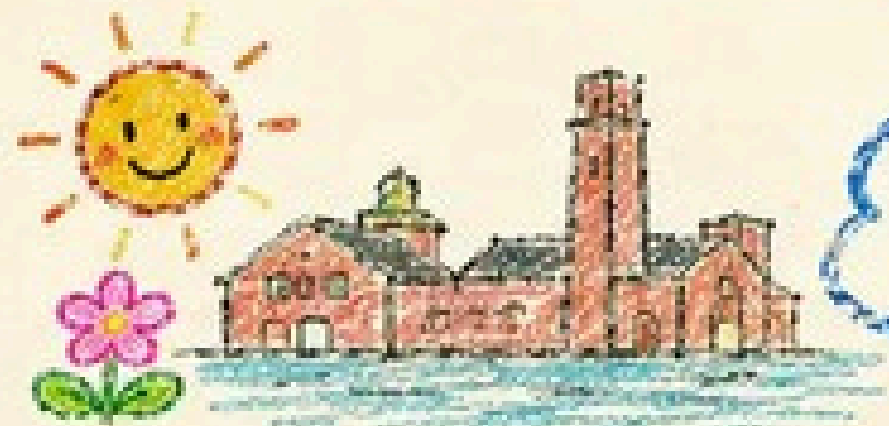
- 住民相談メモを整理したい
- 氏名・住所・家族構成・経済状況あり
- 庁内AIにそのまま全文を貼り付けた
- 「これを要約して」と依頼



おまかせ
ください!



この使い方は ○? ×? △?



回答1 X アウト

住民相談メモの個人情報をそのままAIに貼り付けるのはダメ!

生のまま貼り付けると...

住民相談メモ (生の情報)

田中 太郎さん (仮)
住所: 半田市〇〇町
家族: 妻・子ども2人
収入: 〇〇万円くらい
家賃: 〇〇円
困りごと:
生活費が足りない...
仕事を探している



こうすればOK!

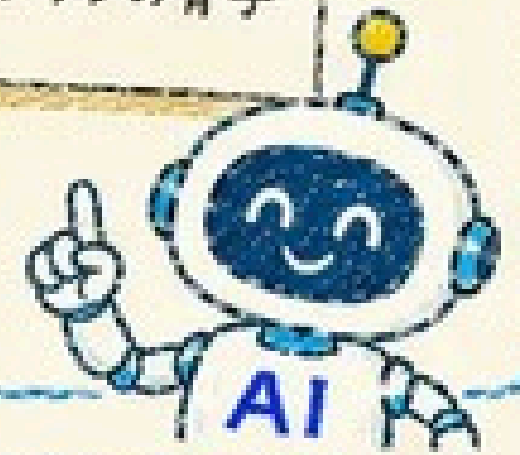
住民相談メモ
(匿名化した下書き)

Aさん (70代男性・独居)
状況: 生活費が足りない
仕事を探している
支援の方向性:
〇〇支援制度の案内
就労支援の検討

+

整理用テンプレート
(例)

- ・状況整理の型
- ・支援の方向性
- ・優先度の整理
- ・支援プランの骨子



なぜX?

- 個人情報を生のままAIに投入
- 庁内AIでも「個人特定情報を入れない」が原則
- 漏えい時の責任は職員+市

じゃあどうする?

- 「Aさん(70代男性・独居)」のように匿名化
- AIには書式づくり・整理の型を作らせる
- 中身は自分で書き、形だけAIに整えてもらう

学びキーワード: 個人情報マスキング



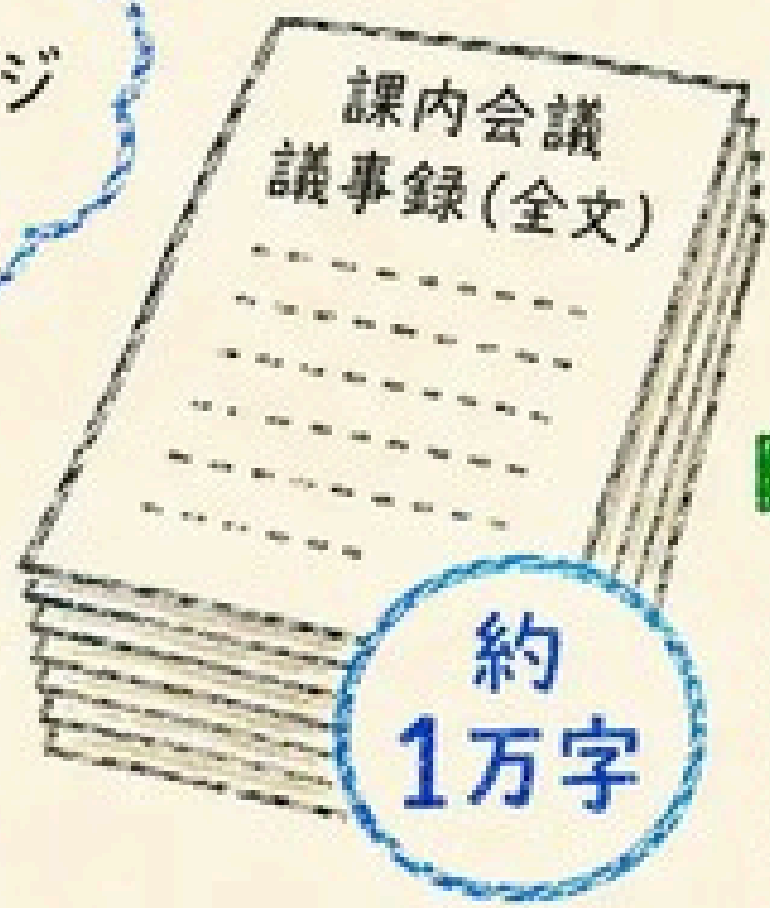


問題2

半田市 職員のための
生成AI研修

この使い方、セーフ？

課内会議の
議事録を1ページ
要約したい

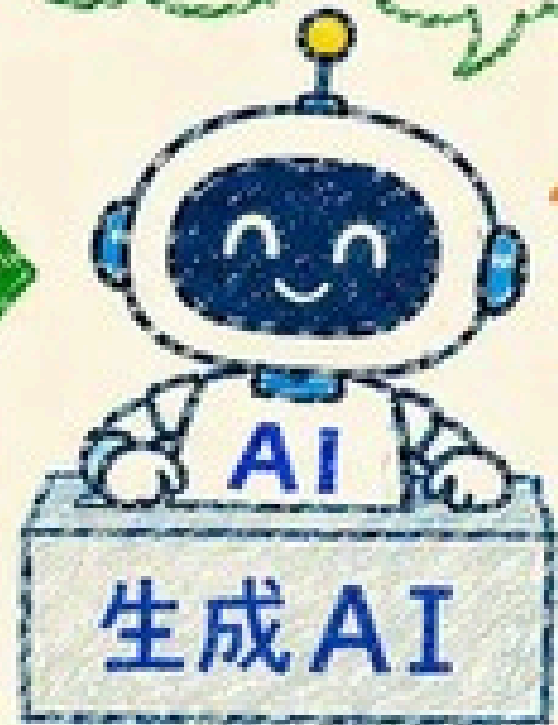


個人名・特定情報は
マスキング済み



田中太郎さん → ***さん
半田市〇〇町 → ***町
電話番号 → ***-****

AIに「論点・決定事項・宿題」で
要約させた



1ページ
要約



この使い方は ○？ ×？ △？



〇×△ 回答2 〇セーフ



マスク済み済みの議事録をAIが要約する使い方は**Good!**

なぜ〇?

- 個人特定情報を事前にマスク済み
- 議事録の整理・要約はAIの得意領域
- 人が確認してから提出するので安心

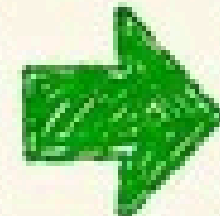
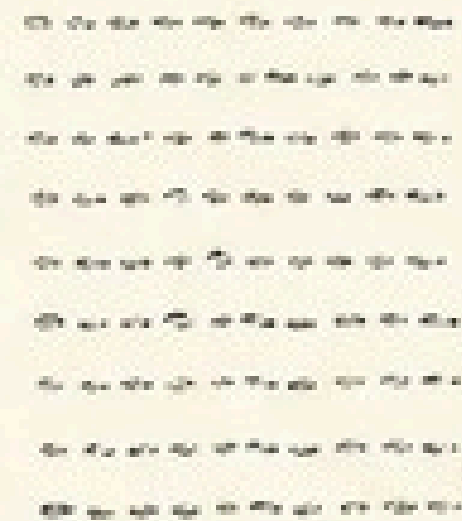
注意点

- 「決定事項」と「意見」の混同に注意
- 数字・固有名詞は原文で再確認



長い議事録もAIでスッキリ要約!

全体の議事録
(長文)

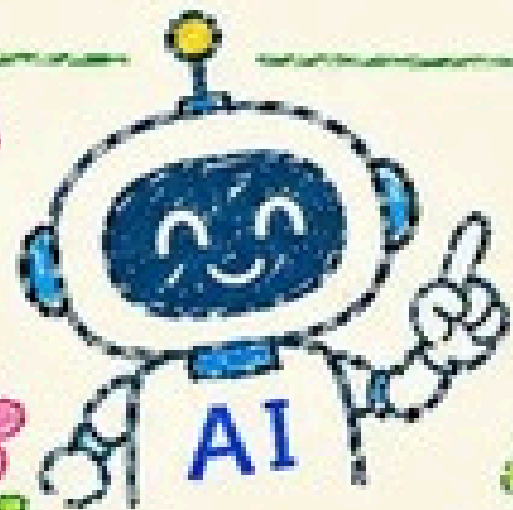


要約した議事録
(1ページ)

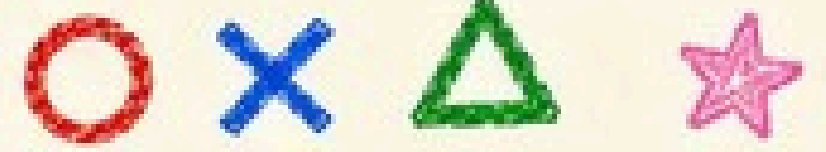
論点

決定事項

宿題

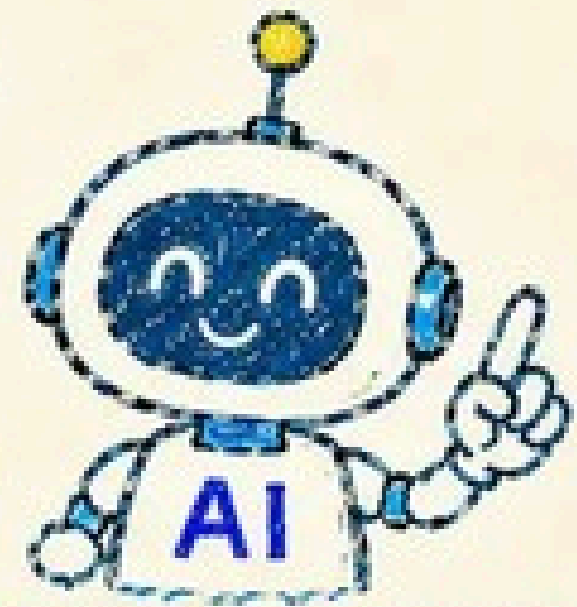


学びキーワード: **要約はAIの主戦場**





問題3



そのままAIに聞いていい？

① 議員から
「今年度の補正予算は？」
と聞かれた



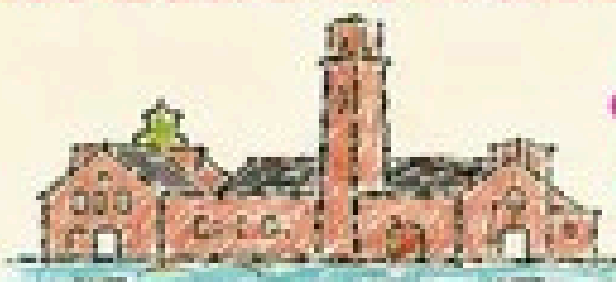
② 手元に資料がない



③ 庁内AIにそのまま質問した
「半田市の今年度の
補正予算を教えてください」

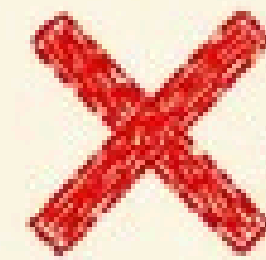


この使い方は ○？ ×？ △？





回答 3



やってはいけない



出典資料なしでAIに「最新の半田市補正予算」を聞くのは**危険!**



なぜX?

- AIには知識カットオフがある
- 最新の半田市補正予算を知らない
- それらしい誤答=ハルシネーション恐れ
- 事実誤認の責任は職員にある

こんなふうに違うよ!

あいまいなAIの回答(例)

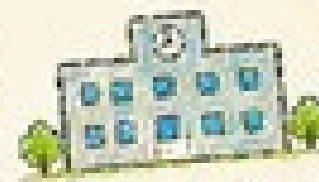
半田市の最新の補正予算は約〇億円です。(2024年6月時点)

本当かわからない...



公式資料の確認

半田市議会補正予算案資料(令和〇年度)



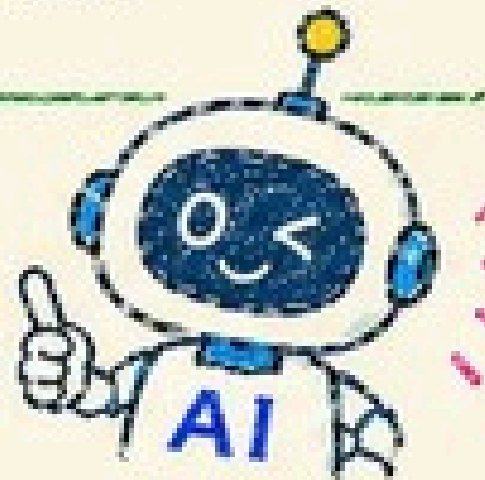
根拠のある正しい情報!



じゃあどうする?

- 財政課に確認、または公式資料を見る
- AIには手元資料を貼って要点整理を頼む

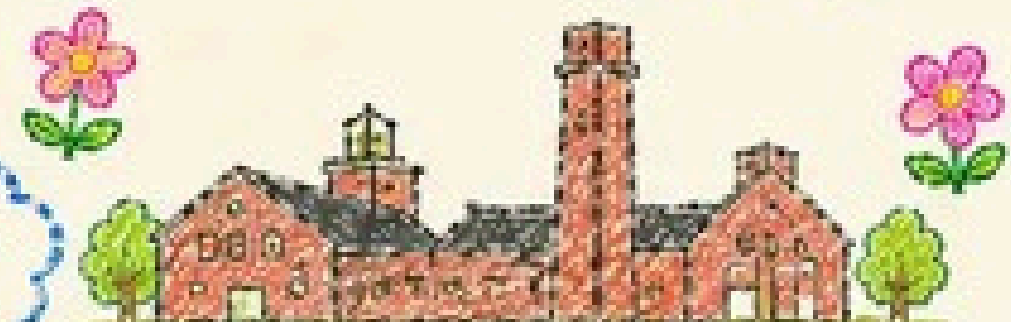
AIは正しく使おう!



それらしく答えてしまうことがあるよ!



学びキーワード: **知識カットオフ**・ハルシネーション





問題4



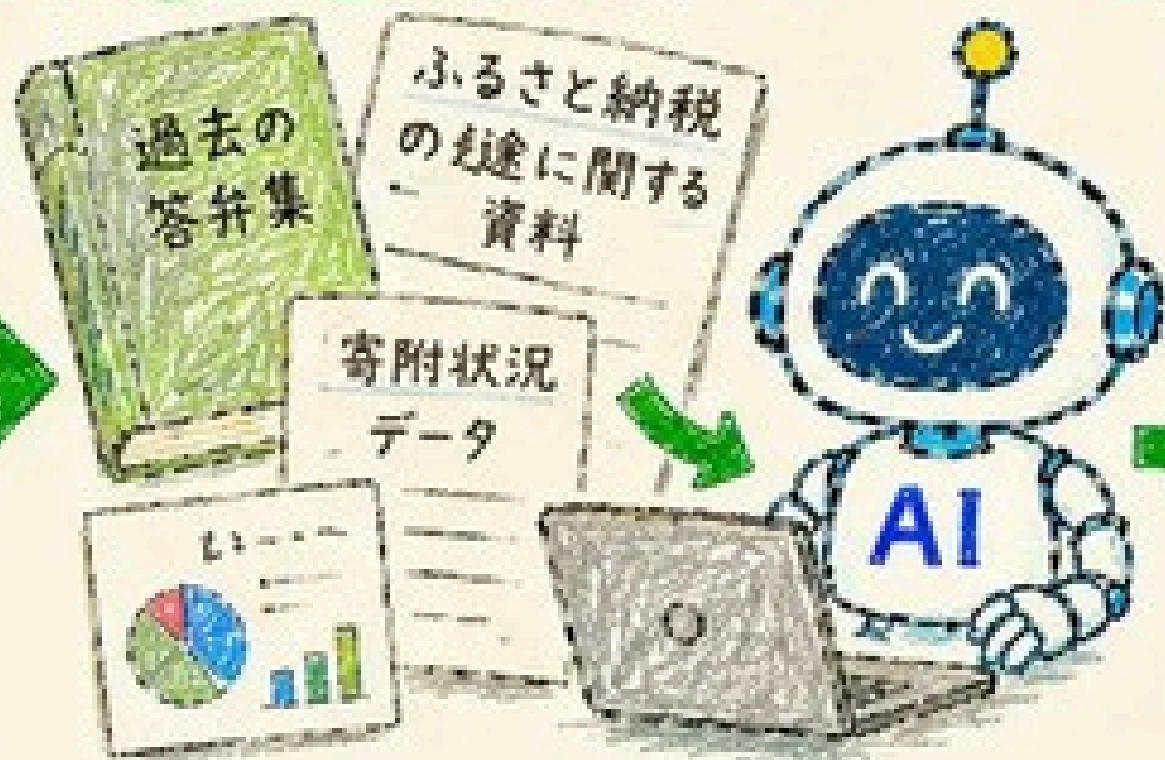
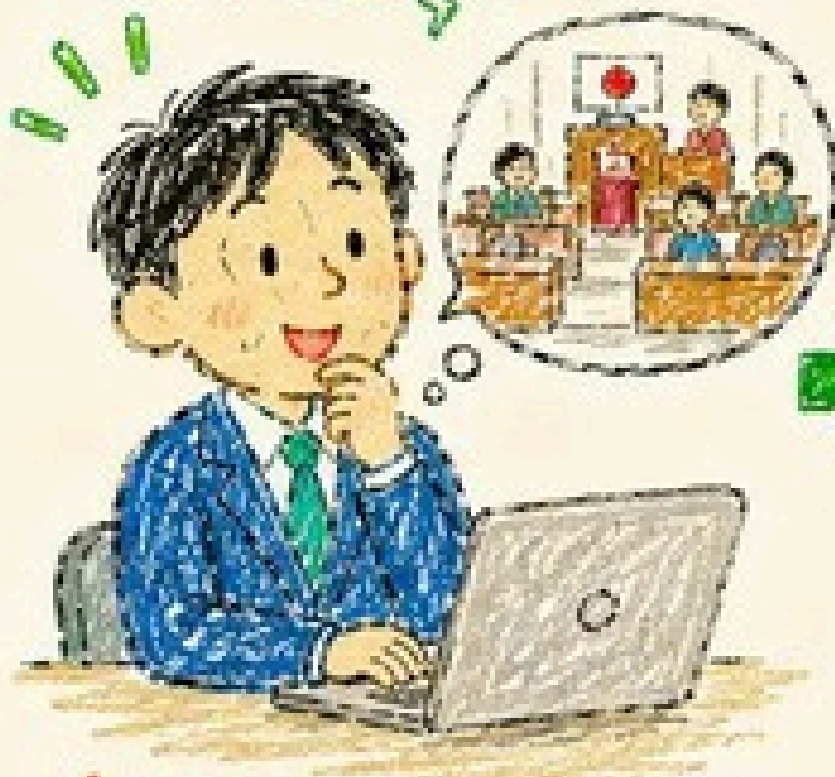
このAI活用、**どう**判断する？

来週の議会答弁を準備したい

過去の答弁集と関連資料をAIに貼った

「結論先出し・6文以内・慎重トーン」と指示

その後、課内で精査して仕上げた



指示(プロンプト)
・結論先出し
・6文以内
・前向きすぎず慎重に

答弁案(ドラフト)
・
・
・

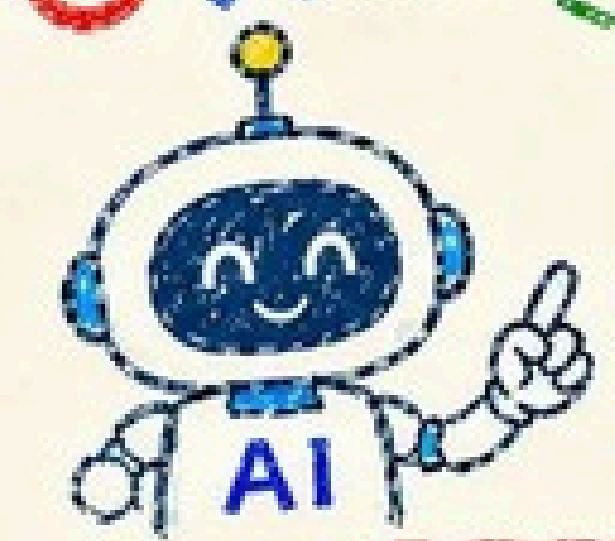


この使い方は ○? ×? △?



回答4

〇セーフ・推奨

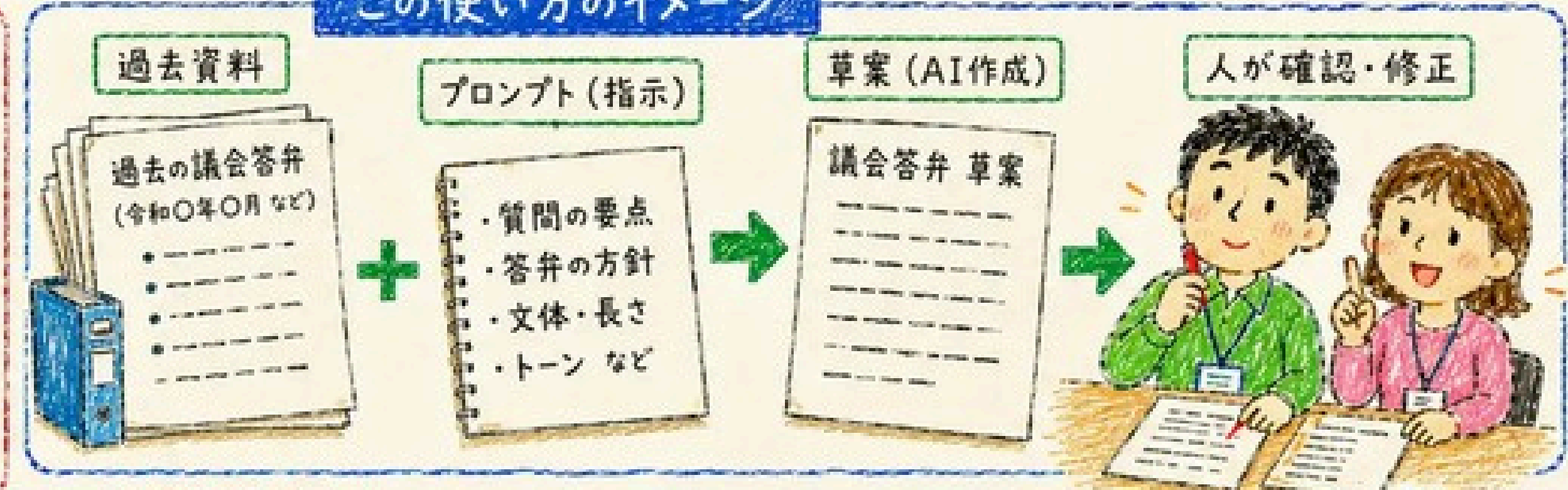


過去資料をもとに、議会对応の草案をAIで作成し、人間が確認・修正するのは、**非常に有効な使い方!**

なぜ〇?

- 過去資料を渡しているので文脈が合う
- 指示が具体的で、文体・長さ・トーンが明確
- 最終判断は人間(課内精査)
- 「AIで草案 → 人が責任」の理想形

この使い方のイメージ



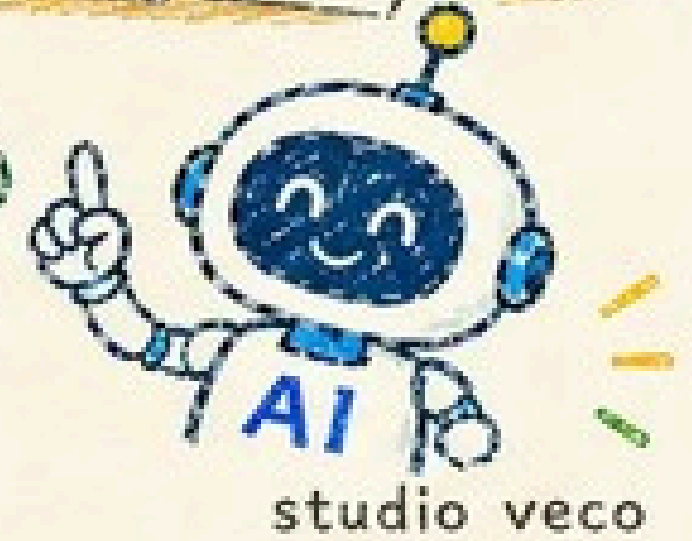
注意点

- 数字・条例引用は原典で再確認
- AI利用を隠さないカルチャー

AIは“最強の下書き係”だよ!



学びキーワード: **草案作成はAI、責任は人間**





問題5

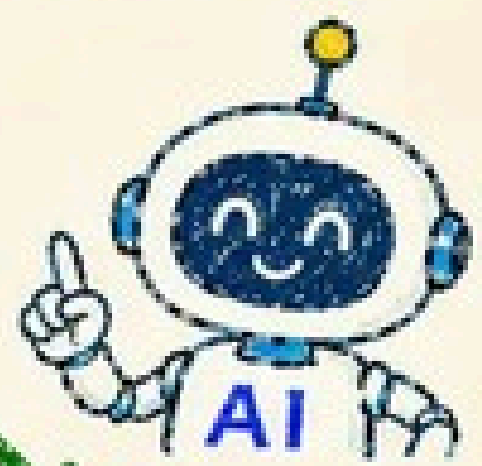


AIは3つの視点で書き分けられる？

市の新政策を
3つの視点で整理したい

新政策(案)
子育て世帯応援
サポート事業

-
-
-



AI一発で
できる？

① 市長・経営層

- 効果は？
- 費用対効果は？
- 市のビジョンとの整合性は？



② 現場職員

- 実務はどう変わる？
- 必要な体制は？
- 課題やリスクは？

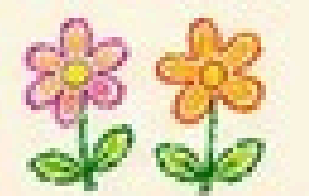


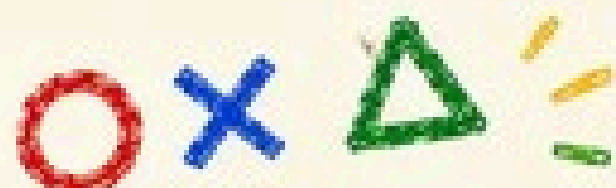
③ 住民

- 自分たちにどんなメリットがある？
- 使いやすい？
- 安心できる？



Q ① できない ② できる ③ 人間にしか書けない



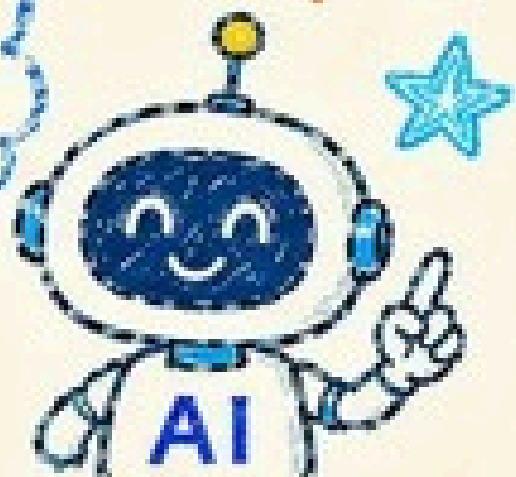


回答5



② できる

おつかれさ
きまでした!



★ 複数の視点を同時に生成することは、AIの強みのひとつ!

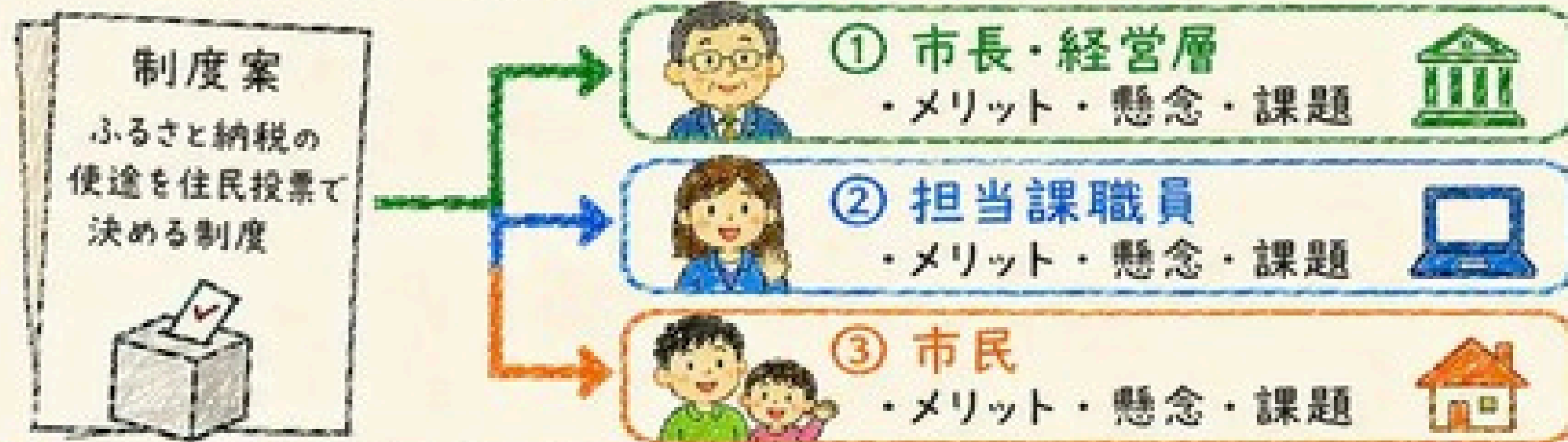
なぜ?

- 同じ事象を立場別に再構成できる
- 経営層は予算・成果、現場は工数・引継ぎ、住民は利便性・公平性を重視
- 多視点同時生成はAIの得意技

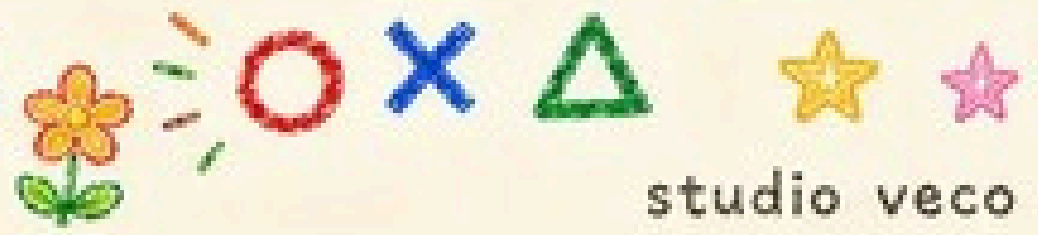
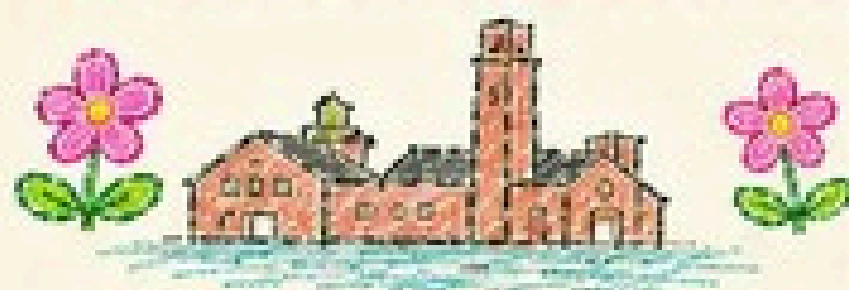


実演例

「ふるさと納税の使途を住民投票で決める制度」について、
① 市長・経営層 ② 担当課職員 ③ 市民の立場から
メリット・懸念・導入時の課題を整理してください



学びキーワード：多視点シミュレーション



事例

自治体生成AI活用事例 ① 横須賀市



全国初の全庁ChatGPT実証



1 規模と期間

- 対象：全職員 約3,800人
- 実証期間：2023年4月20日～（約1か月）
- 実利用者：約1,900人（約50%）
- 環境：LoGoチャットにChatGPTを統合



2 実証結果

- 約**8割**が「仕事の効率が上がる」「利用を継続したい」と回答
- 年間**22,700時間**の業務時間短縮見込み



時間を生み出す!

3 具体例

<p>国民健康保険のデータ突合</p> <p>2時間 → 10分</p>	<p>文書素案作成</p> <p>10分未満</p>	<p>税務部の研修資料素案</p> <p>大幅短縮</p>	<p>消防局の法令学習教材作成</p> <p>短縮</p>	<p>生活福祉のPDF変換マクロ開発</p> <p>短縮</p>
--------------------------------------	----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	----------------------------------

4 経緯と今後

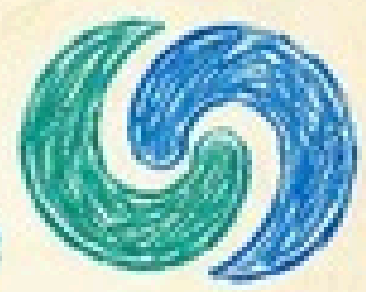
- 2023年3月：検討開始
- 2023年4月20日：全庁試験導入（全国初）
- 2023年6月5日：実証結果公表 → 本格運用へ
- 2024年以降：ChatGPT-4導入、AI戦略アドバイザー配置、他自治体研修へ展開

全庁導入の先行モデル

(出典) ・横須賀市公式「ChatGPTの全庁的な活用実証の結果報告と今後の展開」 ・日経BP PPPまちづくり ・地方自治研究機構 PDF
 ※本資料は研修用に作成したものであり、記載内容は公表情報をもとにしています。



自治体生成AI活用事例② つくば市



政策提言・AI議事録

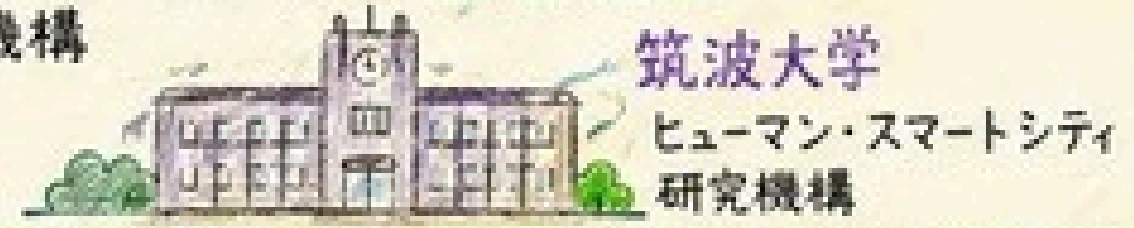
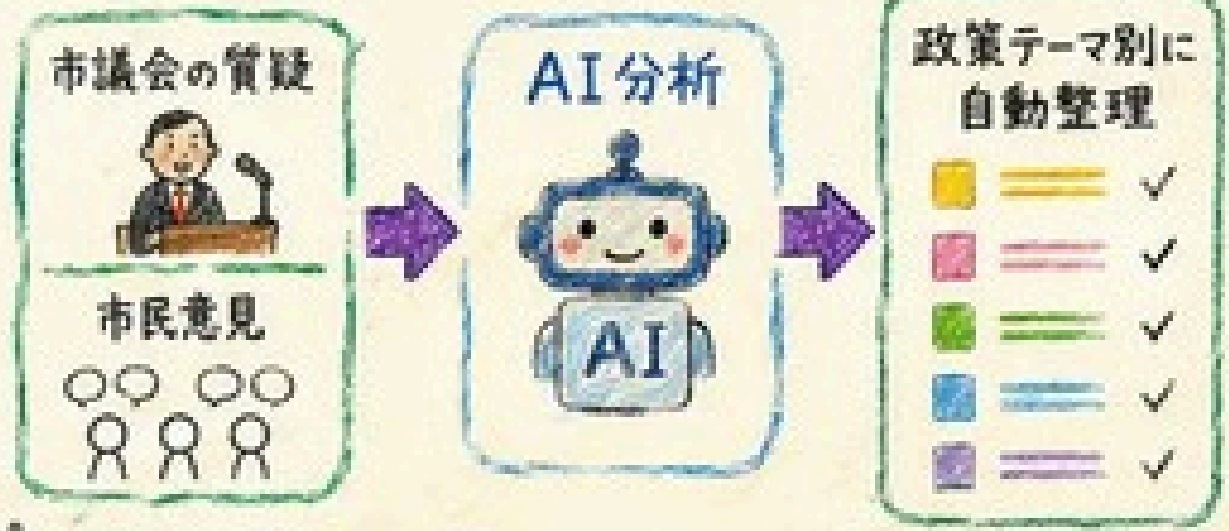
① AI議事録の実証

- 2019年12月～2020年3月末
- NTTデータと共同
- IBM Watson 搭載「AI Minutes for Enterprise」
- **目的**：議事録作成業務の負荷軽減
- **課題**：会議時間の何倍もかかる議事録作成
- 2024年12月～2025年3月：再び共同研究でAI議事録の業務効率化を検証



② 政策提言への生成AI活用

- 2024年度中の取組み
- 市議会の質疑・市民意見を生成AIで分析
- 政策テーマ別に自動整理
- 共同研究：筑波大学ヒューマン・スマートシティ研究機構



③ 6つのテーマ

暮らし 手続き 	子育て 教育 	健康 医療福祉 	観光 文化スポーツ 	都市計画 事業 	市政情報
----------------	---------------	----------------	------------------	----------------	----------

④ 公開・展開

- 2025年5月13日から試験公開予定



⑤ 補足

- 「議事録を約1/4に短縮」は、つくば市ではなく浜田市議会でも実施して知られる
- 比較参照：浜田市議会ではGoogle AI Studio活用で「丸2日→半日」



共同研究型の先進モデル

出典(参考) ・つくば市公式「これまでの共同研究一覧」 ・筑波大学ヒューマン・スマートシティ研究機構 ・日本経済新聞 ・比較参照：鳥根県浜田市議会事例
 ・NTTデータ共同研究プレスリリース

自治体生成AI活用事例 ③ 長野県

県と77市町村の共同調達モデル



1 公式タイムライン

- 試行期間：2023年5月～2024年12月
- 本格運用開始：2025年1月10日
- 試行中に業務利用ガイドラインを策定

2 共同調達の仕組み

- 長野県市町村自治振興組合が県内全77市町村分をまとめて調達
- 希望する市町村に請求する形で導入の地域差を解消
- 「自治体DXの先進モデル」



3 主な活用ツール

- ログミーツGPT：議事録要約・要点箇条書き
- Crew：行政文書照会・FAQ生成

4 Crew活用の効果

項目	従来が目安	Crew活用後(目安)
一人あたり関連業務時間	—	9割削減見込み ✨
会計関連の照会・手続確認	1時間以上	➡ 数秒～数分
条例・規則に基づくQ&A生成	1時間	➡ 数秒～数分
資料作成	2時間	➡ 数十分

5 ポイント

FAQ生成の「30分→5分」は公開資料で確認できず、使わない

★ 広域導入のモデルケース



出典：・長野県公式「生成AIの業務利用について」 ・長野県 PDF「生成AIの業務利用の開始について」
 ・長野県 PDF「ChatGPTを始めとする生成AIサービスの利活用について」 ・Crew導入事例

実践

プロンプト集からやってみよう

グループディスカッション

- AIで何ができることに気づいたか
- AIでどんなことができそうか